

笑顔あふれる学校を目指して

春日野小学校長 笠原 誠康

太古のロマンが眠る町に建つ歴史ある春日野小の校長に着任できたことを光栄に思うと同時に、その責任の重さに身の引き締まる思いを感じながら日々過ごしております。

さて、子どもは自分で何かをやり遂げたとき笑顔になります。自分が誰かの役に立ったとき、心が通い合ったときにも笑顔になります。体も心も元気なときにも笑顔になります。わたしは、そんなきらっと輝く子どもの笑顔があふれる学校をつくりたいと考えています。そのためには、我々教職員が子どものよき理解者であり、学びの伴走者であること、さらには学び続けることが大切だと考えています。

また、いろいろな可能性をひめた子どもたちを笑顔に導くためには、地域、ご家庭と学校が手を携えて子どもを育てることが大切だと思っています。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

令和7年度 春日野小学校グランドデザインについて

今年度の学校教育目標は、「自分のよさや可能性に気づき、互いに尊重し合う児童の育成」です。その目標を達成するために、校訓の「考える子」「思いやりのある子」「きたえる子」に合わせて、それぞれに「自分で 仲間と 粘り強く」「自分も大切 みんなも大切」「体も元気 心も元気」を合言葉に教育活動を進めます。

また、学校教育努力点のテーマは「『やればできる！』春日野っ子の育成～子ども中心の学びを進める体育科学習を通して～」です。特に「自分に合ったペースや方法で学ぶ（個別最適な学び）」に重点を置き、子ども一人一人が見通しをもって学習に取り組むことができるよう、自分の目標や到達度に合わせて学びの計画を選択・自己決定する場を設けたり、課題を見つけたりしながら運動に取り組んでいきます。

詳しくは、配信した「グランドデザイン」をご覧ください。